

議会の窓

一部事務組合の業務

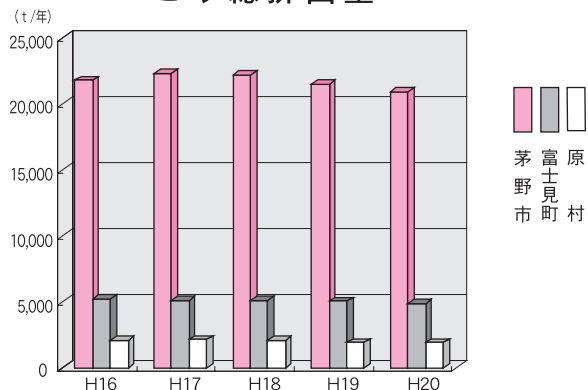
富士見町だけで行うのがむずかしい事業を、他市町村と協力して行っているところが一部事務組合です。「諏訪南行政事務組合」は、諏訪市・茅野市・原村・富士見町の4市町村で構成し、茅野市・富士見町・原村で諏訪南清掃センター(ごみの焼却施設)と最終処分場の事業を行い、3市町村に諏訪市を加えた4市町村で火葬場の事業を行っています。また、「南諏訪衛生施設組合」は、富士見町と原村で構成し、粗大ごみ処理施設とし尿処理施設の運営を行っています。

今回は「諏訪南行政事務組合」についてお知らせします。

諏訪南行政事務組合の今年度の予算は火葬場関係約5,800万円(富士見町の負担金:660万円)、ごみ処理事業約7億3,800万円で、そのうち約9割が3市町村の負担金(茅野市:4億4,900万円、富士見町:1億3,100万円、原村:7,800万円)で賄われます。この負担金は今まで均等割り20%、人口割り80%でしたが、今年度より人口割りが実績割り(排出量割り)に変わりますので、皆さんが出したごみの量によって負担金額が決まります。

現在使用している茅野市の焼却施設は、建設から12年が経過しました。今年度は、900万円ほどで(1/3国の補助)、施設延命化のためにどのような補修工事が必要か精密調査を行い、補修計画を作成します。また、中止となった灰溶融炉建設予定地は1,400万円で整備し、無償で借りていた南諏訪衛生施設組合に返還します。

ごみ総排出量



〈お詫びと訂正〉

2010年4月1日発行の富士見町議会だより(No.112) 4ページ「追ってみました! パノラマスキー場の経緯 町の観光開発」のコーナー、3行目:「広原財産区」の次に「富士見財産区」を加え、7行目:「開発したことに対し」を「開発する案に対し」に訂正し、お詫びいたします。

～表紙の写真から～

1年間のアメリカ・ウイスコン州での酪農研修を経て、4年前から家を継ぎ親子3人で酪農を営んでいます。

「一人で頑張っても全体はよくならない」との思いから、長野県ホルスタイン改良同志会の副会長を務め、若い人たちが興味を持ってくれる組織づくりにも力を入れています。

昨年秋の県の競技会では、五味さんの育てた牛がクラスチャンピオンになりました。「追求すれば必ず道はある」をモットーに、仕事に励む毎日です。

■議会広報編集委員会

委員長 小池 一夫
副委員長 織田 昭雄
委員 小池 一夫
委員 織田 昭雄
委員 池田 武夫

七年に一度の御柱祭、無事山出しが終了しました。煌びやかな色調、趣向を凝らしたイベント等、楽しい大祭になりました。伝統を守りつつも、確実に地域の皆さん参加型の祭りに変わってきています。参加者が多いほど綿密な計画と準備、手際良い作業が望めます。

さて、七ヶ月前に、民間的発想と外から見た目、スピーディーな対応を期待された新町政。行政のスピード感、地域の慣習、言葉の重み、議会への対応等に追われながら、三月定例議会で新年度予算の承認を得ました。

今後、議会も御柱祭が変化しているように、富士見町の未来を見すえた議論を重ね、新町長のグローバル且つ合理的な発想、素早い政策立案に対し、審議を極め町発展に臨みたい。

新町政になり、白熱した議論が交わされるようになります。大勢の方の傍聴をお待ちしています。

(小池 一夫)

へ編集後記